

令和3年度 中学生の「税についての作文」

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞

「私たちの救世主」

柏市立柏第二中学校 三年 小田 颯馬

私たち日本国民の身の回りには、所得税や住民税といったたくさんの種類の税金があふれている。私が小学生の時、税務署の人が学校で税金について説明をしてくれた。その説明を聞いて「税金なんてなければいいのに」なんて思ってしまった。自分が税金に助けられていることも知らずに。

私の家庭はいわゆる母子家庭というもので、あまり裕福ではない。だから就学援助制度という制度に助けて貰っており、無料で給食を食べることができている。新型コロナウイルスの影響でいつも通っている学校が休校になった時は、給食のかわりにお金を頂くことができた。正直なところ、買物の度に財布を困った顔でのぞく母の姿を見るのはとても辛く、不安になるものだった。私たちを助けてくれる税金は日本国民の救世主だ。

そして救世主は色々な場面でみんなを支えてくれている。たとえば、警察や学校だ。日本がとても平和な国であるのは、警察官が治安を維持してくれているからだ。また、私たちが勉強することができているのは、自治体が支援してくれているからだ。今では高校生への支援制度もあるそうだ。

私ごときが偉そうに語ることはできないのだが、私の友人や身近にいる大人の私たちは税のありがたみを全然感じていない。学校では寒いと思うまで冷房をつけていたり、石鹸で手を洗っている際に水道の水を垂れ流しにしたりして電気や水を無駄にしている人をよく見かける。みんなの親が一生懸命働いて稼いだお金をどうして無駄遣いしてしまうのか。私には到底理解できない。周りの大人たちもそうだ。せっかく自治体がお金を出してゴミを回収してくれているにもかかわらず、ゴミの分別をしない。私たちの救世主にひどい扱いをする人たちを見てがっかりする。

二〇一九年一〇月には消費税が一〇パーセントに引き上げられた。ニュース番組では「嫌だ」の声が多く紹介されていた。反対するのは個人の自由だ。しかし、今の現状を知るべきだと思う。これからは高齢化によって社会保障に使用されるお金が増加する一方で、少子化によって税金を払う人が減ってしまう。他にも大量の国債や道路の老朽化などの問題もある。救世主、そして私たちの危機なのである。だから今から多くの税金を払い、備える必要があるのだ。

なぜ多くの問題があるのにもかかわらず、ほとんどの人がそれらの問題を知らないのだろうか。私は「今の現状が知らされていない」からだと思う。これからはテレビや新聞などのマスメディアや学校でより多くの人に、今の現状を伝えていくことが大切だと思う。これからの日本には、解決に向けて今の現状を理解し、協力していく必要がある。私が大人になったら納税という形で救世主に恩返しし、みんなを助ける救世主を支えていきたい。